

稲城野草散策の会

野草スケッチ イヌゴマ (シソ科)



1996/07/06 稲城市坂浜 絵と文 Ta

これまでに、南山へのアプローチを3つほど紹介した（オオバジャノヒゲの項参照）。

今回は、4つ目のルートである。

京王稲城駅から、若葉台方面へ向かって、線路の左側を進むと、人家の間を抜けて線路を見下ろす高台へ出る。

一本道なのでそのまま進む。南山の一番西側を通る道である。

途中、右手に広がる谷を薄葉（うすば）谷戸という。

谷戸を挟んだ位置にあるピンクの建物は駒沢学園の校舎だ。

さらに進めば、他のルートとの合流地点に行き当たる。

途中から左へ入る道も数本あり、どこをどう通ろうが自由である。

イヌゴマは、やや湿った日当たりのよい草藪の中に生えていることが多い。

草丈は1m以上に伸びる。

いい花だし、スケッチしたいと思ったことは再三ならずあるのだが、足場が悪くて、チャンスがなかなか訪れなかった。

草藪をかきわけても、湿った場所ではスケッチもままならない。

それが、上で紹介したルートの途中でおあつらえ向きに咲いていた。

家を建てる予定地らしい、整地されたちょっとした広場の片隅、その先は藪である。

ブルドーザーが藪を切り開いて、さらに土盛りまでして足場を作ってくれたのだ。サンキュー！であった。

さきほどの「他ルートとの合流地点」に話を戻すと、そこは四辻になっていて、普通、観察会では左へ曲がる。

右へ曲がると、だんだん藪っほい道になり、その先に小さな三叉路がある。

左の道は50mほどで行き止まりとなる。柵があって、その先はゴルフ場だ。

柵の手前に石の道標があって、かなりかすれているが「右平尾」と読める。

ここは、かつての百村と平尾村とを結ぶ街道だったらしい。

三叉路まで戻って、もう一本の道を行くと、かなりの悪路、ほとんど藪漕ぎになるが、やがて谷へ下りて小川の岸辺へ出る。

高木がうっそうと繁っている。静かだ。

シダの勉強をはじめた頃に、何度かここまで足を伸ばした。

人に出会ったことはないが、出会ったらちょっと怖い気がする。

深山の趣があり、ここが東京であることを忘れるほどだ。

小川には2つの砂防ダムがあるが、普段はほとんど水が枯れている。

もともと、稲城市内には湧き水が少なく、市内に水源を持つ川はあってもごく短い。

雑木林などに降った雨水は、稲城砂層と呼ばれる地層に深く浸透してしまうのだと思う。

それでも、小川に沿って歩くと、随所に大雨のときに暴れたらしい形跡が見られた。

源流がどうなっているのか気になって、探索して見たことがある。

川に沿って道ともいえない道がほそほそとつながっている。

やがて川は突如姿を消してしまった。

はて？湧き水なのか？それにしても水が汚い。

その先は崖に近い急傾斜である。

急傾斜をよじ登った。

と、突如開けて、そこにはゴルフ場のトイレがあった。あの小川にはゴルフ場の雨水や下水が流れ込んでいたのだ。

幻滅に終わった「探検」であった。

(2001年6月記)

* * * * *

〔観察記録〕 6月10日 多摩森林科学園

前日に梅雨入り宣言があったのですが、この日の朝は晴天で日差しが暑いくらいでした。

多摩森林科学園には好天にも誘われたのか51名の方が集まりました。多摩森林科学園は、森林総合研究所の支所の1つ、サクラの品種保存で知られていて、250種1500本のサクラが植えられています。そのため2月から5月にかけては、サクラ見物の地として賑わいます。高尾駅から北に徒歩で5分ほどという便利な場所ですが、サクラの開花時期を外せば、入園者も少なく静かな散策が楽しめます。この辺りは八王子市廿里町という町で、「とどり」と読む、難読地名の1つだそうです。科学園の入口近くに「廿里古戦場」という案内板があって、十々里古戦場とも表記するようです。こちらの表記ならば「とどり」と読めなくはありません。

16世紀の後半、武田信玄が碓氷峠を越えて関東を南下してきたとき、北条氏照は滝山城を中心に陣を張り迎え撃つ態勢を固めていたそうです。ところが信玄の別働隊が小仏峠を越えて、氏照の背後を脅かしたのです。北条軍は信玄別働隊

の倍の軍勢で対応したのですが、よほど慌てたのか、別働隊の罠にまんまとはまり、この廿里の地で大惨敗を喫したということです。

これ以降北条氏は小仏峠の重要性を改めて認識し、八王子城が建設されることになります。

さて稲城のメンバーは森の科学館前を出発し、谷沿いに歩いて第2樹木園を観察します。少し開けたところで谷が2つに分かれていました。私たちは釣舟草通りと案内板のある左側の谷を進みました。しばらく歩くと谷頭となっていて、階段で尾根筋に出ます。ここで、サクラ保存林を一回りして尾根筋の休憩所で昼食タイムとなりました。

午後は尾根筋をぐるっと回って第3樹木園に向かいます。以前はいったん谷筋に降りないと第3樹木園には入れなかったのですが、尾根筋の道が公開されるようになったため、ほとんど平らな道で第3樹木園に入れるようになっていました。第3樹木園を出るとやたらと日当たりの良い尾根筋の道に戻るような形で歩いたのですが、そのまま下って森の科学館へ戻ってしまった参加者も一部あったようです。

森の科学館に戻ったところで、解散をしたのですが、時間に余裕のある方は更に、第1樹木園を観察することになりました。これで、森林科学園の道をほとんど踏破したことになりました。(とーはもん)

▼観察記録（出現順）

ネムノキ、オオモクゲンジ、アラカシ、シラカシ、ニガナ(花)、トサミズキ、ドクダミ(花)、ヒュウガミズキ、イヌビワ(実)、ホソバイヌビワ、シモツケ(花)、センニンソウ、クサイチゴ(実)、ヤブレガサ(花)、フサザクラ、マンサク、イロハモミジ、ミズメ、ヤマルリソウ、マルバコンロンソウ、ケヤキ、カラスザンショウ、アワブキ、オカタツナミソウ(花)、オニグルミ、サワグルミ、ヤブヘビイチゴ(実)、セリバヒエンソウ(花)、チドリノキ、ミツデカエデ、カジカエデ、イヌブナ、カツラ、ムラサキシキブ(花)、アブラチャン、ミズキ、ホオノキ、ナガバノスミレサイシン、タマアジサイ、フユイチゴ、スイカズラ(花)、ガマズミ(花)、ミズタマソウ、キツネアザミ(花)、マツカゼソウ、ゼンマイ、ミゾシダ、コクサギ、ゲジゲジシダ、ヤマユリ、ヨツバムグラ(花)、イヌワラビ、アカメガシワ、ウド、テリハヤブソテツ、キランソウ(花)、モミジイチゴ、ヘビイチゴ(実)、カラムシ、アサダ、ヤマブキ、ヤブニンジン(実)、トウバナ(花)、ツリフネソウ、イ、クサイ、トキワハゼ(花)、オヤブヅラミ(実)、ノアザミ(花)、ジシバリ(花)、コボタンツル、コウゾリナ(花)、コナスビ(花)、ヤマヨツバムグラ(花)、オトコエシ、ナワシロイチゴ、マタタビ、クサギ、ヤブムラサキ(花)、シオデ(花)、コバノガマズミ、アオイスミレ、ヤブコ

ウジ、コウヤボウキ、コバノタツナミソウ、センボンヤリ、エンコウカエデ、ニガキ、ヤブムラサキ(花)、マルバアオダモ、ナガバノコウヤボウキ、コアジサイ(花)、リョウブ、キッコウハグマ、マルバウツギ、ツクバネウツギ、オカトラノオ(花)、ニワトコ、ニガイチゴ、ヤマホタルブクロ(花)、ミツバアケビ、ピナンカズラ、ヤマイタチシダ、ベニシダ、イタビカズラ、オオイタチシダ、イヌシダ、イノデ、オオバノイノモトソウ、タラノキ、タツナミソウ、モミ、キジョラン、テイカカズラ、ヌルデ、トキリマメ、コバノガマズミ、ゴンズイ、コゴメウツギ、サルトリイバラ、マユミ、キブシ、ヒメコウゾ(実)、ヤマウコギ、ジャケツイバラ、ツタウルシ、マンリョウ、サカキ、ヒサカキ、ウダイカンバ、ノダケ、モミジバフウ、ミヤマナルコユリ、ウメモドキ、イボタノキ(花)、ケンポナシ、ヤマテリハノイバラ(花)、コウヨウザン、ノアザミ(花)、ヤマグワ、エビヅル、コシダ、ウラジロ、チョウジザクラ、エゴノキ、アキノタムラソウ、ツリガネニンジン、モクゲンジ、シマサルスベリ、アベマキ、ランヨウアオイ、イイギリ、ウワミズザクラ、フジ、オオシマザクラ、シロヤマブキ、ミツバウツギ(実)、アサノハカエデ、ミヤマホウソ、ヘラノキ

〔行事記録〕 6月30日～7月1日

バスハイク・駒止湿原 (こまどしづげん)

今年度のバスハイクは、稲城野草散策の会MLのメンバーを中心に、30名限定のフローラオフとして開催しました。行き先は、ヒメサユリをお目当てに駒止湿原(福島県)でした。



(前ページの写真) ヒメサユリ群生地での観察風景

* * * * *

天候に恵まれた上、お目当てのヒメサユリ、ワタスゲだけでなく、ニッコウキスゲ、ヒオウギアヤメ、サワラン、トキソウ、ツルコケモモなどなど、たくさんの花に出会えた2日間でした。

宿の食事も美味しかったし、いい旅行だったのではないかと思います。

梅雨の真っ最中に、雨に降られず2日間を楽しめた、というのは奇跡みたいですよ。帰りのバスが発車したとたんに雨が降ってきたのには驚きました。

バス旅行に参加されたみなさま、おつかれさまでした。(T a)



(左) ヒメサユリのアップです (群生地にて)。

(右) ニッコウキスゲ (ユリ科ワスレグサ属) 湿原の中に咲いていました。



(左) アルビノ (白花) のヒメサユリもありました。

(右) ヒオウギアヤメ (アヤメ科アヤメ属) 花はアヤメに似ていますが、内花被片は小さく、葉は倍ほどの幅があります。

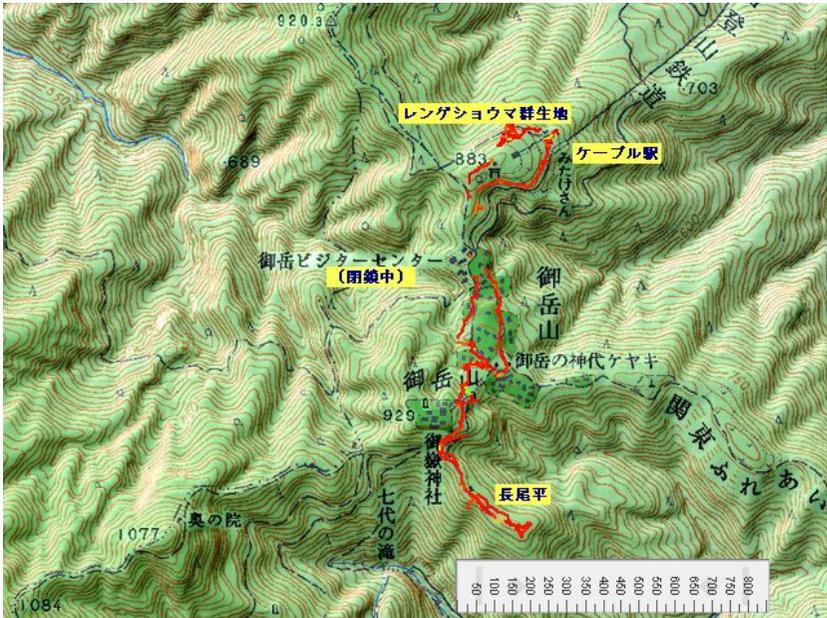
(写真はT aさん)

〔行事予定〕 2012/7/28 (土) 金剛の滝

項目	説明
集合	am10時、JR五日市線武蔵五日市駅 改札口付近 ※会旗目標 JR五日市線武蔵五日市駅の改札口は一個所だけです
交通	JR五日市線の終点です 新宿から乗換えなしで運行している「ホリデー快速あきがわ号」が便利です。ホリデー快速時刻表 新宿発8：47→立川9：15→武蔵五日市着9：54。ホリデー快速の後ろ6両は奥多摩行きですので、前4両に乗ってください JR立川駅9：10→武蔵五日市駅9：40もあります
行く先 (解散場所)	JR五日市線武蔵五日市駅から金剛の滝へ 広徳寺経由で武蔵五日市駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	イワタバコ
地図	
コース	武蔵五日市駅前→松原街道→沢戸橋→(昼食)→金剛の滝→広徳寺 →武蔵五日市駅(解散)

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日 300 円

〔行事予定〕 2012/8/19 (日) 御岳山

項目	説明
集合	am10時、JR青梅線・御嶽駅 改札口付近 ※会旗目標 改札口は一個所だけです
交通	新宿から乗換えなしで運行している「ホリデー快速・おくとま号」が便利です。ホリデー快速立川発・・・8:47、9:15 ホリデー快速の前4両は五日市行きですので、後ろ6両に乗ってください
行く先 (解散場所)	長尾平まで行って戻る予定です(下の地図を参照ください) 御嶽駅にてpm4時頃解散予定
見所 その他	ケーブルの終点、御岳山駅は831mの標高があり、関東平野が一望できます 今回のお目当てはレンゲショウマです
地図	
コース	御嶽駅→(バス)→滝本駅→(ケーブルカー)→御岳山駅→レンゲショウマ群生地→御岳神社→長尾平(昼食)→御岳神社→神代樺→御岳駅→(ケーブルカー)→滝本駅→(バス)→御嶽駅(解散) 行程4~5km程度です。多少のアップダウンがあります コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

※なお、御嶽駅～滝本駅間のバス代、ケーブル代は各自でお支払い下さい